

2018  
平成30年  
9月議会  
No.54

みやこ市議会だより

# 羅針盤

らしんばん

10月19日、宮古駅南側に位置する複合施設「イーストピアみやこ」内に移転した市議会の議場で初の本会議が開かれました。新しい議場は議席と当局席が対面する高低差がない設計となっています。また、傍聴席にはスロープを設置し、傍聴しやすい環境を整えています。(関連2～3p)



## INDEX

新本会議場が開場…2P

9月定例会議…4P

予算特別委員会…6P

決算特別委員会…7P

一般質問…10P

議会報告会のお知らせ…17P

政務活動費の使用状況…18P

議会トピックス…19P

編集後記…19P

みんなのラウンジ…20P

10月1日、宮古市役所、宮古保健センター、市民交流センターがひとつになった複合施設「イーストピアみやこ」がオープンしました。市役所5階に移転した本会議場の開場の様子、アクセスや利用の方法などをお知らせします。

### イーストピアオープン

10月1日、複合施設「イーストピアみやこ」が開所し、開所式典に古館章秀議長をはじめとする市議会議員が出席しました。

施設と宮古駅前を繋ぐ自由連絡通路「クロスデッキ」の開通式では、古館議長が、山本正徳市長や来賓とともに、テープカットと渡り初めを行いました。また、その後、イーストピアの開所式が正面玄関で行われ、市

政の新たな拠点の出発を祝いました。

### 初の本会議を実施

9月定例会議の最終日となった10月19日の本会議は、市議会議事堂がイーストピアに移転して以降、初めて開かれる会議となりました。会議冒頭、古館議長は「新しい議場は、中央に発言台が設けられており、質問する側も、答弁する側も、よく見えるとともに、議席

と傍聴席の高低差が少なくなっており、傍聴される市民の皆さまには、分かりやすく議会を身近に感じていただけるものと思います。

これを機に我々議員は、市民の皆さまの信任に応えられるよう、市民の皆さまと同じ目線で、そして、二元代表制の一翼を担う気概を持って、全力で取り組んでまいります。とあいさつし、議場の開場を宣言しました。



開場の言葉を述べる古館議長

また、山本市長からは新しい議場と、今後の市政についての期待が語られました。

この日、本会議を傍聴に訪れた市民の方からは、議場の設備について「段差がなくなり、全体的に好印象を受けました。」「場所が街の中心でいいと思います。」「といった声が聞かれました。

## 市民に

# 開

## かれた公正な

# 議論の場

## を目指して

### 議事堂内の配置

市議会議事堂のあるイーストピア内には、建物の東側と西側にそれぞれエレベーターと階段が設置されています。

傍聴席には東側のエレベーターが近く、クロスデッキを利用する場合や、正面玄関からお越しの際はこちらが便利です。

自動車で来場の場合、イーストピア周辺にある次の駐車場が無料となります。

### 駐車場の利用

下図の経路で傍聴席までお進みください。(本会議の場合、傍聴席入り口に受け付けがあり、ご案内します。) また、委員会の傍聴や、その他の用事の際には、議会事務局にお声がけください。

お帰りの際に傍聴整理券と駐車券を議会事務局にお持ちください。

- タイムズ宮古市役所前
  - タイムズ宮古駅前
  - タイムズ宮古東
- その他、議会や議場に関しては、議会事務局（68-9113）へお問い合わせください。



宮古市役所前の駐車場



駅前からの連絡通路「クロスデッキ」



交流センター内の東側エレベーター



クロスデッキからお越しの際は、東側のエレベーターから、矢印のように本会議場・傍聴席にお進みください。

12月定例会議は12月上旬予定

初めて議席についた全議員



# 9月 定例会議

## 平成29年度決算を認定 平成30年度補正予算を可決

**9月の議会**

9月5日～10月19日  
45日間

予算5件 決算18件  
条例3件 意見書1件  
諮問1件 請願1件  
その他議案2件  
発議案1件  
一般質問 14人(3日間)

市議会9月定例会議で可決・認定された

平成30年度補正予算、主な条例・意見書などを解説します

### 35の議案を可決

平成30年9月定例会議は、9月5日(水)から10月19日(金)までの45日間の会議期間で開かれ、会期中の本会議の日は6日でした。

9月18日の本会議冒頭、前市議会議員が逮捕されたことを受け、古館章秀議長が市民の皆さまに向けてお詫びの言葉を述べました。

今定例会議では、「平成30年度一般会計補正予算」などの補正予算5件、「宮古市指定地域密着型サービス事業

業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例」などの条例3件、議案2件、発議案1件、諮問、意見書など計13件を可決しました。このほか請願1件が採択となりました。

### 可決された主な条例

●宮古市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

▼この条例は、介護保険法等関係法令の改正に伴い、地域密着型サービス事業者として指定することができるとして指定することができるとともに、所要の整備をしようとするものです。

### 宮古市手数料条例の一部を改正する条例

▼この条例は、建築基準法の改正により、建築物の接道規制の適用除外に係る手続きが合理化され、市が建

### 請願

建築物の接道規則に係る特例認定の申請に関する審査事務を行うこととなることに伴い、当該申請に係る手数料の額を定めようとするものです。

### 採択

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める請願 (請願者 岩手県教職員組合 下閉伊支部支部長 菅原昭敬)

### 可決した意見書

■教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

学校現場における、子どもたちのゆたかな学びを実現するため、教職員の教材研究や授業準備の時間確保に資する、定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を、国に向けて強く要望するもの。

(提出者：教育民生常任委員会委員長 熊坂伸子)

### 決算は3分科会で審査

平成29年度の決算については、議長を除く全議員で構成される決算特別委員会(工藤小百合委員長)が設置され、3つの分科会で予算の執行状況や事業実績などの審査を行いました。なお、今期より常任委員会が3つになったことを受け、審査も3つの分科会で行われました。

平成29年度の一般会計歳入は554億8610万円(前年比14・8%減)、歳出は521億5519万円(前年比13・8%減)でした。

た。一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入が724億6536万円、歳出が687億4166万円となりました。歳出の前年比は、13・2%減、執行率は82・5%でした。

10月19日の本会議では、工藤委員長が、18件の審査結果を報告しました。

このうち一般会計と国民健康保険事業勘定特別会計で討論が行われ、賛成多数で認定されました。その他の特別会計、企業会計16件については、全会一致で認定されました。

## 討論

9月定例会議の本会議では、以下の2つの議案について討論が行われました。議案、発言者、概要をお知らせします。

### ◎認定第1号 平成29年度宮古市一般会計歳入歳出決算の認定について

発言者 田中 尚 議員 (反対討論)  
中心市街地拠点施設、再生可能エネルギー、企業誘致、地域雇用などの施策において、地域内経済循環や地元産業活性化策が十分に具体化された決算内容ではなかったとして、認定に反対したものの。

### ◎認定第2号 平成29年度宮古市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について

発言者 落合 久三 議員 (反対討論)  
保険給付費の伸びに対して一般会計の繰り入れを行わない、特定健診事業を減額補正するなど、保険料の負担軽減や、医療費の抑制への取り組みが足りないとして、認定に反対したものの。

## 賛否の一覧

9月定例会議本会議での、賛否の分かれた議案の議決結果は下記の通りでした。  
いずれの議案も、反対の立場で討論がされたのち、起立による採決を行い、賛成多数により可決されました。賛成の立場での討論はありませんでした。

議案番号	議案名	認定第1号	認定第2号
		起立採決	起立採決
採決方法	議決結果	起立採決	起立採決
白石雅一	○	○	○
木村誠	○	○	○
西村昭二	○	○	○
畠山茂	○	○	○
小島直也	○	○	○
鳥居晋	○	○	○
熊坂伸子	○	○	○
佐々木清明	○	○	○
橋本久夫	○	○	○
伊藤清	○	○	○
佐々木重勝	○	○	○
高橋秀正	○	○	○
坂本悦夫	○	×	×
長門孝則	○	○	○
竹花邦彦	欠	欠	欠
落合久三	×	×	×
松本尚美	○	○	○
加藤俊郎	○	○	○
藤原光昭	○	○	○
田中 尚	×	×	×
工藤小百合	○	○	○
古館章秀	-	-	-

「○」=賛成者、「×」=反対者、「退」=退席者、「欠」=欠席者、「-」=議長(採決に加わらない)



無電柱化が計画されている市道末広町線

# 平成30年度

## 一般会計・特別会計の補正予算を可決

### 旧宮古警察署の取得の検討・国道340号休憩施設等整備事業・末広町線無電柱化推進事業 小学校ブロック塀撤去工事など決まる

平成30年度一般会計補正予算は、既に議決している歳入・歳出に、それぞれ25億6,277万円を追加し、予算総額は435億3,948万円となります。主な歳入は地方交付税4億7,927万円と繰越金17億7,219万円などです。

### 平成30年度会計別 9月補正の内容(歳入・歳出)

会計別	区分	予 算 額		計
		補正前の額	補 正 額	
(1) 一般会計		409億7,671万円	25億6,277万円	435億3,948万円
(2) 特別会計				
	国民健康保険事業勘定	66億1,106万円	1,852万円	66億2,958万円
	介護保険事業	70億9,092万円	3億6,645万円	74億5,737万円
	宮古市魚市場事業	3億2,977万円	(財源補正)	3億2,977万円

### 今回補正の主な事業(一般会計)

事業名	補正前の額	事業内容
	補正額	
	補正後の額	
新 駅 整 備 事 業	5億円 7,000万円 5億7,000万円	八木沢に整備予定の新駅周辺の地盤が当初計画より脆弱なため、地盤の補強工事を行います。
企 画 調 整 費 (旧宮古警察署取得検討)	1億3,001万円 85万円 1億3,086万円	旧宮古警察署庁舎の取得についての判断材料とするため、不動産鑑定を行います。
国道340号休憩施設等整備事業	1,010万円 1億350万円 1億1,360万円	旧小国小学校を改修し、休憩、産直、情報発信機能を備えた施設とするため、平成31年7月の開業に向け整備を進めます。
児 童 福 祉 一 般 事 業 (第2期宮古市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査)	5,661万円 500万円 6,161万円	第2期の支援事業計画を策定するため、市民へのニーズ調査を行います。
市道末広町線無電柱化推進事業	— 845万円 845万円	市内中心部の商店街を通る、市道末広町線の電柱を地中化するため、基本計画の策定を進めます。
宮古駅前広場喫煙所整備事業	— 230万円 230万円	宮古駅前広場周辺の環境整備のため、喫煙所を設置し分煙を進めます。
教育委員会事務局費 (田老第三小学校閉校記念事業)	1億5,644万円 72万円 1億5,716万円	平成31年3月の田老第三小学校の閉校に当たり、記念事業や統合用学用品購入の補助を行います。
小 学 校 維 持 管 理 事 業 (小学校ブロック塀撤去等)	3億7,113万円 1,300万円 3億8,413万円	市内小学校の安全な学習環境を維持するため、学校施設周辺の危険なブロック塀撤去工事を行います。

# 平成29年度決算審査



決算特別委員会に付託された平成29年度決算の分科会ごとの審査の概要をお伝えします。

### 総務分科会

(分科会長 松本尚美)

#### ◆ 一般会計・歳出 ◆

##### ■ 広聴事務

問 私 の 提 言 「 市 長 へ の 手 紙 」 の 内 容 は ど の よ う な も の か。

答 施 策 に 反 映 し た も の 1 件、実 施・実 現 に 向 け て 努 力 が 必 要 な も の 19 件、実 施 ・ 実 現 に は 課 題 が あ る も の 9 件、実 施 は 困 難 な も の 2 件、そ の 他 感 謝 ・ お 礼 等 が 6 件 で あ っ た。施 策 に 反 映 し た も の は、住 居 表 示 の 付 番 で あ る。施 策 提 言 の 内 容 で あ れ ば ホ ー ム ペ ー ジ で 公 表 し て い る。

##### ■ ふるさと納税事務

問 ふ る さ と 納 税 活 用 テ ー マ 「 市 長 に お ま か せ 」 の 具 体 的 な 取 り 扱 い は ど の よ う

##### ■ 車両管理事務

問 カ ー シ ェ ア リ ン グ し て い る 本 来 の 目 的 と 市 の 意 図 は 何 か。

答 環 境 負 荷 の 低 減 が 目 的。ス マ ー ト コ ミ ュ ニ テ イ 事 業 へ の 取 り 組 み の 中 で、市 の 公 用 車 と し て 一 定 程 度 利 用 す る と し た も の。

問 カ ー シ ェ ア リ ン グ を 普 通 リ ー ス に し た 方 が 維 持 費 は か ら な い の で は。

答 プ ラ グ イ ン ハ イ ブ リ ッ ト 車 の た め 充 電 設 備 が 必 要 と な る。現 状 で は、ス マ ー ト コ ミ ュ ニ テ イ 事 業 の 中 で

考 え て い く こ と に な る。今 後 環 境 が 変 わ り、充 電 設 備 が た く さ ん 出 て く れ ば、別 の 方 法 も 考 え ら れ る。

##### ■ 路線バス対策事業

問 生 活 交 通 路 線 バ ス 運 行 維 持 で 平 成 28 年 度 の 実 績 報 告 書 と 比 べ て 石 浜 線、崎 山 線、前 須 賀 浄 土 ケ 浜 線 の 3 路 線 が 減 に な っ て い る が、状 況 を 把 握 し て い る か。

答 そ の 3 路 線 と 宮 園 線 の 4 路 線 に つ い て は、平 成 29 年 度 は 国 の 調 査 事 業 を 導 入 し、別 途 国 庫 補 助 を 受 け て い る 路 線 で あ る の で、路 線 が 減 っ た も の で は な い。

##### ■ 地域振興センター運営事業

問 国 道 3 4 0 号 の 休 憩 施 設 が で き る の で、江 繋 と 小 国 地 域 を 集 約 し、休 憩 施 設 の 活 性 化 や 運 営 費 の 削 減 を 考 え る 予 定 は な い か。

答 川 井 地 区 の 6 地 域 に は そ れ ぞ れ に 特 色 が あ り、地 域 活 動 や 文 化 活 動 を 行 っ て い る こ と か ら、今 の 状 況 で は 6 地 区 で 進 め たい と 考 え て い る。今 後、状 況 が 変 わ れ ば 考 え て い く 必 要 は あ る と 思 っ っ。

##### ■ コミュニティ助成事業

問 平 成 30 年 度 に 申 請 さ れ て い る 防 災 会 が あ る か。

答 4 つ の 防 災 会 か ら 申 請 が あ る。平 成 30 年 度 は 赤 前 中 組 防 災 会 が 選 定 さ れ た。宝 く じ 助 成 に よ り 財 団 法 人 自 治 総 合 セ ン タ ー が 選 定 ・ 交 付 す る も の で、例 年 県 内 で 4 団 体 程 度 が 選 ば れ て い る。

##### ■ 防災ハザードマップ作成業務

問 新 し い ハ ザ ー ド マ ッ プ が で き た が、次 に 備 え て ま



公共交通の集積する宮古駅前

た新しい防災マップ作りを考えているのか。

【答】平成29年度予算で10年ぶりの改訂をした。防潮堤や道路が完成するなど、復興事業が一定程度完了した時点で、避難場所等の見直しを行いながら更新する必要があると思う。加えて、県で実施する洪水シミュレーション等についてもそれらを反映できる適正な時期に更新したいと思っている。

### 教育民生分科会

(分科会長 熊坂伸子)

#### ◆一般会計・歳出◆

##### ■住民基本台帳事務

【問】マイナンバーカードの交付実績を、他自治体と比較してどう評価するのか。

【答】岩手県全体での交付率9.9%、本市は市で1番高い交付率であり、コンビニ交付など独自のサービスも展開している。今後も普及に努める。

##### ■再生可能エネルギープロジェクト推進事業

【問】実績に基づいた、新電力事業の今後の展望を伺う。

【答】現在、公営施設105カ所、民間事業所24カ所へ

と納税である。寄附の対象は「フェリーでつながる宮古・室蘭地域交流促進事業」のみである。平成29年度は1企業から10万円寄附があった。他のメニューは今後検討していく。

配電している。公営施設はほぼ普及しきったという認識であり、今後は一般家庭にも普及を進めたい。

##### ■福祉灯油購入助成事業

【問】対象世帯数と助成世帯数の差はなぜ生じたのか。

【答】広報での周知、個別の郵送での案内でも申請を行わなかった世帯があるということ。現在の周知のほかに、何らかの工夫ができるか検討する。

##### ■公立保育所等運営事業

【問】実績に基づき保育所の定員を見直す考えはないか。

【答】直接的な見直しはすぐには考えていないが、人口集積地域の保育所を将来的にどうするかは、施設の整備と共に検討を進めていく。

##### ■門馬保育所は入所が予定される未就学児がないため、来年度以降休止。小国保育所は入所予定があるため、協の漁業共済への加入者が対象の5割に満たない。この要因をどのように考えているか。

【答】宮古漁協が行っている4つの特定養殖業（ワカメ・コンブ・ホタテ・カキ）のうちホタテとカキについては、「がんばる漁業」という震災に対する補助制度（平成28年度終了）を利用していた。この補助と漁業共済掛金補助は供給が認められないことから、加入しなかったと認識している。

##### ■地場産業支援育成事業

【問】本事業は販路拡大に結び付いているか。

【答】結び付いているもの、付かないもの両方ある。加工品コンクリートの製品でニーズが低いこともあれば、関東方面のデパートで販路を拡大しているものもあることから、今後も支援は必要と考える。

##### ■自然公園管理事業

【問】女遊戸及び小港海水浴場の海中状況調査の結果、

め、継続となる予定である。

##### ■医師養成事業

【問】事業の効果に対する評価を伺う。

【答】医師としての就労はまだないが、来年度臨床研修に入る予定がある。看護師は3人が義務履行により市内で就労している。

##### ■診療所費

【問】休診中の摂待診療所の今後の展望は。

【答】摂待地区の患者は、ほとんどが田老診療所に通っていて、不便との声は聞かない。今後について、早めに関向性を示したい。

##### ■教育振興基金

【問】小中学校の部活動への補助金は小中学校費にあるが、本事業の相違点は。

【答】小体連・中体連以外の活動で、東北大会以上へ参加する場合の諸費用（交通、宿泊、運搬）の補助。

##### ■基金を整理し、部活動以外でスポーツや文化活動に取り組み子どもを支援する制度を新たに作れないか。

【問】基金を整理し、部活動以外でスポーツや文化活動に取り組み子どもを支援する制度を新たに作れないか。

【答】この2箇所の海水浴場については、震災で被災したトイレなどについて復興交付金の財源をもとに復旧を検討している。来年の海水浴シーズンに向けて準備を進めている。

##### ■街灯管理事業

【問】東北電力から寄贈される街灯の数は毎年変わるのか。

【答】市では要望する灯数を東北電力へ提示し、東北電力では他の自治体の要望灯数と調整したうえでその年の寄贈数を決めるという仕組みになっている。

【答】小中学校の部活動等を支援する制度は様々あり、整理の必要性は感じている。まずは基金の見直しを今年度行っていきたい。

##### ■老木公園

【問】事業費400万円で維持管理を行っているが、ラグビーW杯を控え今後の展開は。

【答】老朽化したクラブハウスの修繕など、使いやすい環境づくりをしていく。

閉伊川老木公園

#### ◆一般会計・歳入◆

##### ■高齢者住宅整備資金貸付金元利収入

【問】収入未済額の回収が危

#### ◆特別会計◆

##### ■魚市場事業特別会計（市場管理費）

【問】魚市場運営委員会の開催が1回であり、内容が報告のみにとどまるなど形骸化していないか懸念する。魚市場をより利便性のあるものにしていくために、改善すべき点があると思うがどうか。

【答】昨年の決算審査の際も同様の提言をいただいております。構成委員の見直しや会議3回分の委員報酬を計上するなど対応している。今年度は運営委員会を四半期ごとに年3回開催する予定で取り組んでいる。

【問】増設棟に設置された手洗い場が、にわか作りのように見えるが。

【答】仮設的な造りになっているが本設である。劣化は早いと思われるので、新たな形で本設することも考えなければならぬ。

#### ◆特別会計◆

##### ■介護保険事業

【問】不用額、繰越が多く、財政調整基金の積み立ても十分にある場合、保険料を見直す運用を検討するべきだと考えるがどうか。

【答】保険料はサービスの需要・供給に基づき設定したものである。長期的視点で負担を平準化するという意味合いもあるため、短期的な負担の偏りが生じないよう設定する必要があると考える。

### 産業建設分科会

(分科会長 佐々木重勝)

#### ◆一般会計・歳出◆

##### ■水産振興事業

【問】水産金融対策事業について、漁業共済は第2の所得補償と考えるが、宮古漁

協の漁業共済への加入者が対象の5割に満たない。この要因をどのように考えているか。



街灯の整備された市道

# 一般質問 「ここ」が聞きたい

## 市政を問う

- 熊坂 伸子 議員**(ネクストみやこ)……(10)
  - 市立図書館の利活用策について
  - 子育て支援の充実について
  - 子どもの権利条例について
  - パートナーシップ条例について
- 橋本 久夫 議員**(ネクストみやこ)……(11)
  - 宮古海戦150周年について
  - 関係人口施策について
- 伊藤 清 議員**(無所属クラブ)……(11)
  - 消防団活動円滑化のための支援について
  - ガバメントクラウドファンディングの活用について
- 竹花 邦彦 議員**(新風クラブ)……(12)
  - 地域公共交通の課題について
  - 子どもの貧困実態調査について
  - 人事院勧告への対応について
- 小島 直也 議員**(公明党)……(12)
  - 「森林環境税(仮称)」導入後の林業の展望は
  - 不登校生徒の義務教育終了後の支援について
- 落合 久三 議員**(日本共産党)……(13)
  - 宮古市魚市場水揚げ増対策について
  - 市内水産加工業の危機的状況の打開について
  - 宮古・室蘭フェリー就航に関する課題について
- 西村 昭二 議員**(ネクストみやこ)……(13)
  - スポーツによる市民の健康推進と競技者の誘致について
  - 公園整備について
- 高橋 秀正 議員**(復興を考える会)……(14)
  - 農林業振興策について
  - 震災の寄附について
- 島山 茂 議員**(新風クラブ)……(14)
  - 宮古市小・中学校の適正配置基本方針について
  - 学校施設的环境整備について
  - 中学校の部活動のあり方について
  - 教職員の働き方改革について
- 田中 尚 議員**(日本共産党)……(15)
  - 閉伊川水門整備の見直しについて
  - 県立病院の次期経営計画について
- 松本 尚美 議員**(無所属クラブ)……(15)
  - 地方創生と産業立市について
  - まち・ひと・しごと創生総合戦略について
  - 宮古市産業立市ビジョンについて
- 木村 誠 議員**(尽政クラブ)……(16)
  - 宮古市の森林資源を活用した地域振興策について
  - 姉妹都市との交流のあり方について
- 白石 雅一 議員**(復興を考える会)……(16)
  - 就労支援に小型家電リサイクルを
  - 地域振興のこれからは
  - ラグビーワールドカップへ注力を
- 長門 孝則 議員**(無所属クラブ)……(17)
  - 宮蘭フェリーの就航について
  - 水素エネルギーの利活用について



熊坂 伸子 議員

### 質問 市立図書館をもつと有効に使うべき

### 答弁 1階入り口のレイアウト等工夫する



屋根修繕工事中の市立図書館(本館)

また産後の家庭訪問については、相談しやすい体制の構築と充実を努める。

**問** ■子どもの権利条例の制定をする大人の責務を宣言する子どもの権利条例を制定してはどうか。

**答** 山本市長 「宮古市子ども・子育て会議」等で議論していく。

**問** 現在の市立図書館(本館)は展示や保存スペースが不足している。市史編纂室を移転して、限られたスペースを有効に使うにはどうか。

**答** 伊藤教育長 市史編纂室はレファレンスサービスと連携するなどして幅広いニーズに対応している。

利用者が気軽に訪れやすい図書館となるよう、さらに取り組む。

**問** ■子育て支援の充実を①子育てサービスを分かり易く網羅

した冊子等を母子健康手帳交付時に配布してはどうか。

②産後の助産師や保健師による家庭訪問を2回にして欲しい。

**答** 山本市長 子育てに関する様々な情報が一元的に提供できる冊子等を工夫したい。

**問** ■パートナーシップ条例制定を「パートナーシップ制度」導入はダイバーシティの視点及び法の下の平等の観点から必要と思うがどうか。

**答** 山本市長 今後の社会情勢等を注視しながら、研究していきたい。



橋本 久夫 議員

### 質問 宮古海戦150周年の具体的施策は

### 答弁 年度内に諸団体と実施内容を協議



大杉神社境内にある「宮古港戦績碑」(額字は東郷平八郎による)

の方策として注目を集めているのが「関係人口」である。

「関係人口」とは、地域に対して交流や観光人口より深く関わり、定住人口より浅い関係を持つ人々のことを指す。これらの人々を地域の「関係人口」と捉えてつなぐを強化し、様々な形で地域の課題解決に貢献してもらうために、この「関係人口」創出にも積極的に取り組むべきだと考える。見解を伺う。

**答** 山本市長 関係人口とは、様々な形でつながりがある人々であると認識している。本市では事業の具体化に至っていないが、今後モデル事業の動向を注視していく。

**問** 幕末から明治にかけて行われた戊辰戦争。その戦いの中に近代日本初の洋式海戦となった「宮古海戦」の歴史が残る。旧暦明治2年3月25日の戦いは明治の幕開けの歴史にも名を刻む。その「宮古海戦」から来年が150周年となる。節目の年にこの歴史的事実を観光振

興や市民への歴史文化の啓発などに結びつけていくため、具体的な施策を検討しているのか伺う。

**答** 山本市長 宮古港海戦は、本市の歴史上の重要な出来事として位置づけられている。来年は150周年を迎える節目の年である

ることから、歴史の再認識を含め市内外にPRする良い機会である。今後、観光関係者など関係団体とともに実施内容を協議する。

**問** ■関係人口施策の創出を人口減少・少子高齢化が急速に進むわが国において、新たな地方創生



伊藤 清 議員

### 質問 消防ポンプ車の運転免許取得支援を

### 答弁 支援策について今後検討する



人材確保が望まれる消防団活動

■ふるさと納税にガバメントクラウドファンディングの活用を

**問** ガバメントクラウドファンディングとは、現在の「ふるさと納税」システムを活用した、特定の事業実施のための必要資金を集める手法です。より具体的な事業計画、内容を示し、賛同者が自治体に寄付する仕組みで、全国的にこの手法が拡大し、寄付・納税額が年々増加しています。当市でも導入を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 山本市長 現在のふるさと納税の全国的な傾向は、魅力ある返礼品で自治体を選ぶ方が多くなっていますが、今後はふるさと納税の最大の目的である寄付金による歳入確保のため、提案の手法を含め検討しま

**問** 平成29年3月、道路交通法が改正された。市内分団に配備されている消防ポンプ車は、改正以降の普通免許を取得した団員は運転できません。新設された中型免許取得のための補助が若い団員の入団促進、消防団活動の円滑化に必要と考えます。市長の見解を伺いま

す。

**答** 山本市長 消防団本部に確認したところ、現状では、消防ポンプ車の運転者の確保には問題はないとのこと。また、県内において準中型免許取得に関して、公費助成制度を設けている自治体はありません。

ん。しかしながら、将来的に若い方々の入団に伴い、消防ポンプ車の運転者の確保が困難になることが懸念されることから、今後他市町村の制度状況を見ながら検討します。

す。



竹花 邦彦 議員

### 質問 三鉄移管後のダイヤへの対応は

#### 答弁

ダイヤは12月の公表を目指している



3月に全線開通を迎える山田線 宮古・金石間

**問** JR山田線宮古・金石間の三陸鉄道移管まで半年となった。移管後の課題は利用促進である。利用促進を図る上でもダイヤ、運賃を早く示す必要があると考える。公表の予定と本市の対応方針などを伺う。

**答** 山本市長  
ダイヤについては、通学、通勤、通院ニーズに配慮し、編成作業中である。詳細なダイヤは、来年3月のJRダイヤ改正と調整が生じるため、本年12月頃の公表を目指している。運賃は来年1月以降の見込みである。

市としても、沿線住民の利便に配慮したダイヤや運行本数の確保を働きかける。運賃については、通学定期購入費軽減など激変緩和に配慮し、適正な運賃設定となるよう働きかける。

**問** 当市の公共交通の課題の一つである路線バスとスクールバス、患者輸送バスの連携について、検討状況を伺う。

**答** 山本市長  
公共交通空白地において市民誰もが利用できる交通手段としての患者輸送バスの活用方法を検討している。



小島 直也 議員

### 質問 「森林環境税」導入後の林業の展望は

#### 答弁

国のガイドラインに沿って検討する



川井地区の豊かな森林

**問** 森林環境税（仮称）の導入が2024年から始まる。来年から前倒しで市に配分される森林環境譲与税（仮称）の税額はいくらになるのか。また、その使い道は検討しているか。

**答** 山本市長  
譲与税額を試算すると平成31年度は、約3千400万円となる。

使い道は、市が行う間伐や人材育成・担い手確保、木材利用の促進や普及啓発等の費用に充てなければならないとされている。

**問** 不登校生徒の支援について 学校生活に馴染めずに卒業した子どもたちの将来が心配される。引きこもりのケースに陥った場合など、その子どもが成人するまで、本人や家族に支援するべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 山本市長  
中学校卒業後、教育相談室とともに各中学校が一番身近な窓口として相談できる体制をとっており、内容に応じて必要な支援等について、教育委員会や市の関係部局と連携して行っている。



落合 久三 議員

### 質問 特区法再延長で市税免除延長を

#### 答弁

水産加工業の深刻さは認識する



付加価値をどうつけるか（水産加工会社）

**問** 不漁の連続で他市の老舗水産加工業社が49億円の負債を抱え倒産した。今季のサンマ、イカ、サケ等の水揚げ如何では市内水産加工業者も危機的状況の拡大の恐れがある。こうした中で復興特区法による固定資産税の免除期間が平成32年度まで延長された。改めてこの措置

**答** 山本市長  
東日本大震災で被災し未だ復興途上であり、近年の水揚げ量減少で、市内水産加工業者が深刻な状況と認識してい

る。市では復興特区制度などの支援策を行っている。電気料金の軽減などについては、水産加工業者が何を必要としているか関係者と協議していく。

**問** 複合施設整備で交流人口創出を 少なくない観光客が埠頭に降り立つて「クレインは元気に動いているが、他には何もない場所ですね」と落胆の声をあげている。そこで「交流賑わい複合施設（食堂、特産品販売産直、サケの展示コーナー）を三陸沿岸道路の完成までの間に整備すべきだ。



西村 昭二 議員

### 質問 スポーツでの健康推進と競技者誘致について

#### 答弁

ニーズを把握し検討する



ボルダリング競技等に使用されるクライミングウォール

**問** ①個人のレベルに応じて運動できることから、市の施設（公園、保育、小中学校、福祉施設）にクライミングウォール等の設置をどうするか？  
②更に民間施設で設置する場合の補助制度を創設し、市内でスポーツのできる場所を増やしてはどうか。

**答** 山本市長  
③競技者誘致については、グリーンピア三陸みやこや湯ったり館といった宿泊施設にクライミングウォールを設置し、宿泊客の確保にも繋がることから合宿地として誘致してはどうか。

連携を図りながら市民のニーズを把握していく。  
②心身ともに健康で豊かな生活を送れることから情報収集をし、研究していく。  
③他自治体の事例を研究しながら検討を進めている。

**問** 公園整備について ①子育て世代の家族や、高齢者も適度に運動できる設備を整えた公園を整備してはどうか？  
②多くの市民が集う公園には、何度も足を運びたくなるような魅力的な設備が求められている。復興道路によりアクセスが容易になったことから、グリーンピア三陸みやこを適地と考えるが今後の利用整備についてはどうか。



高橋 秀正 議員

### 質問 林業の振興策に菌床シイタケ栽培を

### 答弁 生産者や関係機関と協議、研究していく



シイタケの菌床栽培の様子

**問** 高齢化が進むなか、力仕事であるシイタケの原木栽培は、労働の割に収入が少なく、じり貧となるのは目に見えている。そこでシイタケの「菌床栽培」を推奨して、一大産業に成長させ、林業所得の向上を目指してはどうだろうか。初期投資に必要なビニールハウスの建設費

を助成し、林業振興を図るべきだ。他市町村では、地方創生交付金を活用して実施している例もある。本市でもできるはずだが、実施に向けた市長の決意を伺う。

**答** シイタケの菌床栽培は、天候の影響が少なく、ハウス内での空調管理や、

で、豊富な森林を活用し、農林業の所得向上のため、菌床シイタケの振興策について、関係機関と協議・研究していく。

**問** 震災の寄付について

震災の寄付は、国、県、他市町村、企業、団体、個人などから約1500回に渡り、あらゆる物資、寄付金は約1万3千件で、約7億3千4百万円となっているが、大型発電機をいただいた記録がない。どうなっているのか伺う。

**答** 山本市長

大型発電機は、平成26年に寄贈されたものが1台ある。これを宮古浄化センターのバックアップ電源として使用している。



畠山 茂 議員

### 質問 将来を見据えた配置計画と教育ビジョンを

### 答弁 子どもたちの教育環境向上に取り組む



市内の小学校の様子

**問** 宮古市小・中学校の適正配置基本方針について、質の高い教育ビジョン、財政的視点、学校施設を抛り所としたまちづくりの複眼的な視点から、適正配置計画と教育ビジョンの作成が必要と考えるが見解を伺う。

**答** 伊藤教育長

これまで、地域や地理的条件、学校規模や学校運営等を考慮し適正配置を進めてきた。次期計画では地域や保護者など十分な意見交換を行い、子どもたちの教育環境向上に取り組む。

**問** エアコン設置とトイレの洋式化の進捗状況を伺う。

**答** 伊藤教育長

宮古市はエアコン設置率が4.1%で今後は国の制度を活用しながら取り組む。トイレ洋式化率は31.6%で快適な学習環境を提供するため順次整備する。

**問** 中学校の部活動について

小規模校でも生徒の可能性を引き出せる部活動ガイドラインが必要と考えるが見解を伺う。

**答** 伊藤教育長

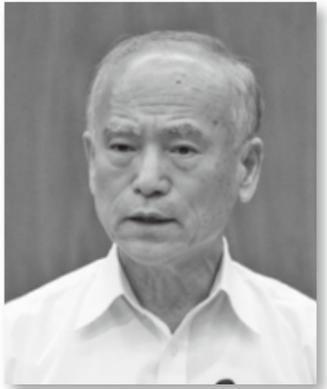
県の方針に基づき部活動ガイドラインの作成を進め、望ましい部活動の実現へ取り組む。

**問** 教職員の働き方改革について

長時間労働の改善に向けた、業務量の適正化、勤務時間の管理、給食費の公会計化の今後の方針を伺う。

**答** 伊藤教育長

今まで、実態を把握し改善や支援・補助に取り組んできた。今後も、教職員の増員要望と業務量の適正化に向け支援を行う。給食費公会計化は国のガイドライン等を参考に検討していく。



田中 尚 議員

### 質問 閉伊川水門整備の検証を

### 答弁 優位性は変わらずと認識している



仮締切りで基礎工事中の閉伊川水門整備工事

**問** 3月、「日経クロステック」は「水門工事費が4倍に発注方式で副作用」と報じた。契約額が設計変更で約290億円、4倍に膨れ、工期も2021年3月まで延長、「堤防かさ上げより安い」とした水門の優位性が失われた。市長は事業費増と工期の延長をどう受けとめるのか。

**答** 山本市長

遅れたことは非常に残念に思っている。

**問** 水門工事は当初の5径間から4径間、164mに規模を変更している。河川と堤防は浸水を防ぎ、津波を遡上させ、エネルギーを吸収する機能がある。

**答** 山本市長

市長は水門整備の中止等事業の検証と見直しを求めるべきでは。

**問** 山本市長

市は水門整備の優位性は変わりがないと認識、早期完成を強く要望している。

**問** 救命センターの配置で協議を

県立病院の次期経営計画（素案）策定を好機と捉え、救命・救急センターの配置のあり方で県に協議を求めるときと考えるが、市長の所見は。

**答** 山本市長

素案では平成37年度宮古圏域の必要病床数は既存の7割、472床になるが、地域の医療ニーズ等への対応を要望する。

宮古圏域に医師を重点配置する計画とし、県立宮古病院の麻酔科などに常勤医師の配置をしよう要望している。市は救命救急センターの設置を強く要望しているが、宮古病院は常勤医師の不足が問題であり、医師確保を最優先課題に県や関係機関と一体で、救急医療体制の充実を図られるよう、取り組んでいく。



松本 尚美 議員

### 質問 産業支援センターの民間移行を

### 答弁 早期には移行できない



新庁舎に移転した産業支援センター

**問** 前市長は、厳しい財政にあって、新たな施策展開、投資的経費、財源確保のため、行政コストをいかに抑えるかに直面し、事務事業の7割は民間でやることとして、施設管理運営の民間委託を積極的に進めることと合わせ、職員定数の削減、諸手当の廃止、残業手当の総額

設定、工事発注、物品購入、調達のみ外業者への拡大、全国公募といった行財政改革の大ナタを振るいました。私は全てに賛同できず、工事発注、物品調達、民間移行については、価格だけではなく、地元最優先、地元でもできるものは地元こだわらるべきと意見を申し上げ

げてきました。一部緩やかになっていますが、基本的に民間でできるものは民間にこの方針には賛同、支持してきました。その後、合併、市長交代、東日本大震災の流れの中で、行財政改革サイクルの事務事業評価が止まり、気が付いたら復興対応も終盤、合併特例債の枯渇、交付税

**答** 山本市長

課題については認識している。民間と行政との役割分担の中で、民間でできることは民間に移すべきだが、行政がまかなう比重はまだ大きく、早期に移行できる状況にない。



木村 誠 議員

### 質問 林業の人材育成や技術習得に廃校利用を

### 答弁 様々な課題が想定されるので研究していく



宮古市の豊富な森林資源の活用が求められる

**問** 平成30年度の税制改革で森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の創設が決定され、市町村主体で森林整備を進める制度が作られることになりました。課税開始の平成36年度に先行して、平成31年度から段階的に配分が始まるということです。

岩手県は森林県であり、当市においての森林面積は県内最大です。このことから、産業の活性化が大いに期待できるものと思われませんが、同時に自治体における森林管理の責務が確実に増していくと考えられます。そこで以下の点について伺います。

**答** ①今後の実務的課題、特に体制整備の予定は。  
②人材育成や技術向上を目的に研修施設が必要と考えます。廃校を利用してはどうかと考えますが、見解を伺います。  
山本市長  
①森林の適正な管理と地域の林業

の活性化につなげていくために、林業事業体及び市の実施体制の確保が必要で、このため、森林組合をはじめとする林業事業体との連携強化や林野庁が創設した地域林政アドバイザー制度の活用を検討しています。  
②研修施設の必要性については、技術の習得や多様な研修の場を提供することが人材育成には必要だと考えています。廃校を利用した研修施設については、利用目的に合わせた改修整備や、講師、研修資材の確保など様々な課題が想定されることから、今後研究してまいります。



白石 雅一 議員

### 質問 就労支援に小型家電リサイクルを

### 答弁 関係団体と連携し研究していく



山形県新庄市で行われている福祉施設による小型家電リサイクル事業

**問** 本市は小型家電リサイクル事業を行っているが、この事業を福祉と連携し新たな障がい者就労支援の一環としてはどうか。

題が多い。しかし就労支援も重要と認識している。今後福祉団体、行政組合などと連携し研究していく。

**答** 地域振興のこれからには平成31年度末に地域創造基金が終了するが、これからも市民主体での

もあるが、基金ありきの定型的事業の効果へ異論も出ている。各地域で議論を深め、地域自治体や基金事業の方向性をまとめ、地域振興への取り組みを支援していく。  
**問** ラグビーW杯へ注力を  
2019年大会において、本市はフィジーとナミビア両代表の公認キャンプ地となった。海外からのファンのためにも、市民を巻き込んだおもてなし態勢を検討してはどうか。  
山本市長  
海外のラグビーファンは滞在期間が長く、滞在地域を楽しむ傾向にある。今後設立を予定する連携組織において情報を共有し、本市を堪能して頂けるよう、おもてなし態勢の整備に取り組んでいく。



長門 孝則 議員

### 質問 宮蘭フェリー就航後ここまでの利用状況は

### 答弁 旅客は見込みを上回り貨物は下回る



市民に歓迎され就航した宮蘭フェリー

**問** 宮古港と室蘭港を結ぶ本県初の定期フェリーは、多くの市民の期待のもと、6月22日に就航からすでに3か月が経過するが、フェリーの利用状況はどうか。また、今後の課題は何か。

体的な数字を公表していないが、旅客は当初の見込みを上回り、貨物は見込みを下回る状況である。今後の課題については、利用増加の取り組みと、運航率の向上が重要であると考えている。

山本市長  
貨物については、三陸沿岸道路などが

**問** 水素エネルギーについて注目され、水素から電気を作る家庭用燃料電池の普及や移動式水素ステーションと燃料電池自動車の導入など、我々の生活に身近なものとなっている。今後、クリーンエネルギーとしての水素を活用した「水素社会」の展開に向けて、新たな発想を検討すべきと思うが、市長の考えを伺う。  
山本市長  
水素は次世代の重要なエネルギーになるものと考えており、水素社会の実現に向けた今後の動向を注視しつつ、活用方法を研究していきたい。

## 語ろう 市のこと 地域のこと 議会報告会・意見交換会



市議会議員が市内の施設などに出向き、議会での審議や活動状況を報告し、市民の皆さんと市や地域の課題について意見交換を行います。

### 日時/場所

日時	場所
11月26日(月) 午後6時30分から	宮古市役所(新庁舎) 5階5-3会議室
	花輪農村文化伝承館
	和井内ふるさと会館
11月28日(水) 午後6時30分から	川井生涯学習センター
	磯鶏公民館
	千徳公民館
11月29日(木) 午後6時30分から	重茂公民館
	川内地域振興センター
	津軽石公民館
11月30日(金) 午後6時30分から	崎山公民館
	鉾ヶ崎公民館
	三王地区自治会研修センター

**内容** 9月定例会議報告、通年議会の概要、議会報告会のあり方について、地域課題について

**問い合わせ** 市議会事務局 (☎68-9113)



## 46年間の歴史に幕引き 議事堂・本会議場を閉場

**旧** 宮古市役所内の議事堂・本会議場での最後の本会議は、9月20日に開かれ、長く市議会の活動を支えた議場に対して、議員から感謝の意が示されました。

一般質問終了後、古館章秀議長からの呼びかけで、田中尚議員が登壇。議場を人間に例え「あなた」と呼びかけつつ、「半世紀に渡り議会審議を支えてきた、思い出の詰まったあなたと別れることに一抹の寂しさもありますが、新しい時代へ共に生まれ変わること、これから議会の活性化に繋げる決意であります。長い間お世話になりました。」と述べました。

その後、全議員で議場に礼を行った後、古館議長が「新たな議場でも、市と市民のために、公正な議論を尽くすと誓いまして、閉場の言葉といたします。」と述べ、市町村合併や震災を乗り越え、本年まで続いた議場の歴史が閉じられました。

## 地域について意見交換



**総** 務常任委員会では市内の各地域の状況を把握するために、これまで宮古地域協議会、田老地域協議会との意見交換を行いました。

これまでの議題は「地方創生について」で、常任委員と各協議会委員との間で、様々な意見が交わされました。総務常任委員会では今後、新里地域協議会、川井地域協議会との意見交換を行う予定です。

## 編集後記

編集委員  
小島直也

今回、「みんなのラウンジ」の取材で、新規就農者である間木裕也さんにお会いしました。

間木さんは震災後のボランティア活動がきっかけで農業を志し、宮古の気候や市民のニーズを勉強し、井戸水を掘るところから畑作りに取り組み、現在も農業に挑戦中です。

人が生計を立てるために新しい分野に挑戦することは大変勇気のいることだと思います。ましてや自然を相手にする仕事です。彼の決意に感服します。

さて、日本列島、災害が頻発しております。国も自治体も防災・減災を取り組まなければなりません。いかなる事態にも、市民一人一人との絆を固く結んで進んでまいりましょう。さあ、寒い冬に向かって、健康第一で

議会広報編集委員会  
委員長 白石雅一  
副委員長 西村昭二  
編集委員 小島直也  
鳥居清明  
島山直也  
佐々木清

## 政務活動費の使用状況をお知らせします

政務活動費とは、議員が行う調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として市から交付されるもので、交付額は議員1人につき年額15万円です。

政務活動費は、条例で定められた用途基準に従って使用し、どのような経費にいくら支出したのか、年度末に領収書の原本を添えて報告することになっています。経費が15万円に満たなかった場合は残金を返還し、15万円を超えた場合は、超えた分を自己負担することになっています。

平成29年度は27名が交付を受けました。議員ごとの使用状況については、下の表をご覧ください。

### 平成29年度 宮古市議会政務活動費 収支一覧 (単位：円)

議員氏名	交付決定額	支出額	返還額	支出実績	内 訳						
					研究 研修費	調 査 旅 費	資 料 作成費	資 料 購入費	広報費	広聴費	その他 経 費
今村 正	150,000	109,593	40,407	109,593		11,121	0	98,472	0	0	0
小島直也	150,000	32,400	117,600	32,400	0	0	0	32,400	0	0	0
木村 誠	150,000	14,089	135,911	14,089	0	14,089	0	0	0	0	0
佐々木 清明	150,000	117,024	32,976	117,024	76,584	40,440	0	0	0	0	0
白石雅一	150,000	150,000	0	156,400	0	0	0	8,400	148,000	0	0
鳥居 晋	150,000	37,422	112,578	37,422	0	0	0	37,422	0	0	0
中島清吾	150,000	94,523	55,477	94,523	94,523	0	0	0	0	0	0
伊藤 清	150,000	48,346	101,654	48,346	0	38,470	0	9,876	0	0	0
熊坂伸子	150,000	0	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0
西村昭二	150,000	58,929	91,071	58,929	0	58,929	0	0	0	0	0
佐々木 重勝	150,000	101,095	48,905	101,095	0	77,749	0	23,346	0	0	0
須賀原チエ子	150,000	79,451	70,549	79,451	0	79,451	0	0	0	0	0
高橋 秀正	150,000	130,622	19,378	130,622	0	0	0	38,455	92,167	0	0
橋本 久夫	150,000	101,340	48,660	101,340	0	85,249	0	9,876	6,215	0	0
古館章秀	150,000	93,776	56,224	93,776	0	81,440	0	12,336	0	0	0
工藤 小百合	150,000	144,592	5,408	144,592	66,843	77,749	0	0	0	0	0
坂本悦夫	150,000	112,460	37,540	112,460	54,180	0	0	58,280	0	0	0
長門孝則	150,000	117,912	32,088	117,912	54,500	31,190	0	32,222	0	0	0
佐々木 勝	150,000	119,484	30,516	119,484	76,260	0	0	43,224	0	0	0
落合久三	150,000	30,800	119,200	30,800	30,800	0	0	0	0	0	0
竹花邦彦	150,000	40,883	109,117	40,883	0	0	0	40,883	0	0	0
畠山 茂	150,000	29,015	120,985	29,015	0	0	0	29,015	0	0	0
坂下正明	150,000	106,426	43,574	106,426	72,484	0	0	33,942	0	0	0
松本尚美	申請なし										
藤原光昭	150,000	79,454	70,546	79,454	45,000	0	0	34,454	0	0	0
田中 尚	150,000	83,015	66,985	83,015	54,947	0	0	28,068	0	0	0
加藤俊郎	150,000	49,205	100,795	49,205	0	45,749	0	3,456	0	0	0
前川昌登	150,000	60,299	89,701	60,299	0	60,299	0	0	0	0	0
合 計	4,050,000	2,142,155	1,907,845	2,148,555	626,121	701,925	0	574,127	246,382	0	0

※宮古市議会では、政務活動費の収支一覧表をホームページへ掲載しています。なお、領収書など収支報告書を開覧するためには請求手続きが必要となりますので、議会事務局（☎68-9113）までお問い合わせください。

# みんなの ラウンジ

議会で可決された条例や  
予算から、身近な話題を  
取り上げお伝えするコー  
ナーです。  
今回は、「新規就農対策事  
業」に申請した、間木裕  
也さんにおはなしをうか  
がいました。

**問** 農業を志したきっかけ  
は何ですか。

**答** 東日本大震災後、宮城  
県石巻市の農業生産法人で、  
ボランティアとして活動し、  
被災者、障がいのある方、  
引きこもりの方などと農業  
に取り組んだことがきっか  
けです。その後、地元で農  
業をやりたいと考え、市内  
の上山農園で1年間、農業  
の勉強をさせていただき、  
「ピュアファーム宮古」と  
して独立しました。

**問** 作付けしている農作物  
の種類や、販売先を教えてください。

**答** 田鎖と松山に農地を賃  
して下さる方がいて、ピー  
マンとナスを中心に作って  
います。今年はピーマンが  
高く値が付き、ほっとして  
います。  
販売先は、農業協同組合  
や市内の生活協同組合の店  
舗、宮古青果市場です。ま  
た、千徳郵便局では、局内  
に産直コーナーを設けてい  
て、買ってくださる地域の  
方もいます。

**問** 農業の魅力は何でしょ  
うか。また、反対に苦労し  
ている点はありますか。

ください。

## 新規就農対策事業

新たな農業従事者を確保するため、新規就農者が行う研修や設備購入、Iターン者の住居費に対して、限度額の範囲内で、助成・補助を行う制度です。9月定例会議で補正予算が可決されました。

担当：市農林課 農政係

**問** 魅力は、真面目に取り  
組めば、農作物が応えてく  
れるところ。苦労している  
のは、近年の酷暑や豪雨、  
台風への対応です。

**問** 新規就農対策事業の活  
用方法は？

**答** トラクターを購入する  
予定です。

**問** 今後の抱負をお聞かせ  
ください。

**答** 自分が今、農業ができ  
るのは、お世話になってい  
る地域の方々や、多くの先

輩や同年代の仲間の励まし  
があるからです。私も将来、  
農業と福祉との連携により  
障がいがある方などに働く  
場を提供し、人と関わりた  
いと思っています。

これからも、自分で作っ  
て、自分で食べてみて、納  
得したものを食卓に届けて  
いきたいです。

農業を通じた  
人とのつながりに感謝し  
作物を収穫しています

